

令和5年度 活動報告

ここ数年は堆肥化プラントのハウスや作業用の設備・機械類、大型フォークリフト・大型攪拌機等が古くなり修理費などの維持管理費が嵩み、支出高となっております。今年度は特に大小のフォークリフト2台の故障修理が続き経費高となり多少の赤字となりました。令和5年度の活動と成果は下記の通りです。

1 小学生への環境教育

- ・伊万里・大坪・二里小学校の4年生と立花小学校の3年生の約300名に対して、佐大農学部の染谷教授並びに伊万里西ロータリクラブ様の協力を受け、例年通り環境教育プログラムを実施しました。

2 菜の花プロジェクト活動の推進（いまり菜の花の会との協働事業）

- ・いまり菜の花の会の協力を受け、環境杯グランドゴルフ大会「生ごみを宝に！地域を菜の花色に」を毎年開催し、秋の大会の希望者には菜の花の苗とはちがめ堆肥を配布しました。
- ・市内の全保育園(23園)に菜の花の苗とはちがめ堆肥を配布し、6月には市民図書館で園児の菜の花図画展を開催。菜種油は給食に活用して食育を推進し、並行的に市民の皆さんには環境啓発を目指しました。

3 農産物直売所「風道」の生産農家の拡大と堆肥の販売増

- ・農家会員増を目指しましたが、思うような拡大には至りませんでした。
- ・堆肥の方は、品質向上の結果 販売先が武雄、有田、多久、佐賀大和の他 佐世保、平戸、波佐見等の篤農家にも拡がり知名度も年々高まっています。

4 本年度の生ごみ分別回収と資源化による社会への貢献（SDGs）

生ごみの回収と資源化は約 445 トンと廃食油 約 11 トン

（一般廃棄物 367 トン・産業廃棄物 78 トン・廃食油 11 トン）

- ・生ごみ 367 トンの削減……………伊万里市のごみ焼却費 1,358 万円相当の節約

（本市の令和4年度ごみ焼却費トン 37,000 円で試算）

- ・生ごみ 445 トン・廃食油 11 トンの資源化による CO₂ の発生抑制は約 935 トン

（生ごみ 445 トン+廃油 11 トン）×2.0513 トン（CO₂）=935.39 トン

標準的な生ごみ 1 トンを収集運搬・焼却の従来通りの処理方法で処理すると、CO₂ がトンあたり

2,051.3kg 排出されます。（(財) 省エネルギーセンター）